

技術を生かして

住宅補修ボランティア

6月5日、南条建築組合（加藤晴雄組合長）が、地元の高齢者に快適に暮らしてもらおうと65歳以上の一人暮らし老人等を対象に、住宅補修ボランティアを行いました。

南条保健福祉センターで、組合員ら35人が出発式を行った後各グループに分かれ、地区内の12戸を廻り、屋根瓦や雨どいなどの補修を行いました。

作業を受けた高齢者らは「簡単な補修でも自分では出来ないで今日を待っていました。住宅の気になる場所を直してもらってとても嬉しい」と話しながら作業を見守っていました。



温泉とカラオケでイキイキ

高齢者保養事業



65歳以上の人を対象に、町内の温泉施設で高齢者保養事業が行われています。

この事業は昨年まで町が実施してきましたが、今年からは老人クラブへの新規加入促進と高齢者の地域内交流促進を目的に、南条シルバークラブ連合会、今庄地区、河野地区の各老人クラブ連合会が主催する事業になりました。6月7日は、今庄集落を対象に、今庄365温泉やすらぎで行われ88人が参加。温泉に入り疲れを癒した後、お弁当を食べながらカラオケがスタート。マイクを片手に気持ちよさそうに歌っていました。参加した人たちは「大きな声で歌ったり、みんなの歌を聞いたり、話をするのは楽しい。また参加したい」と喜んでいました。

坂上二郎さん舞台公演

6月10日、南条文化会館で自主公演のひとり坂上二郎さんの芸能生活50周年記念作品「富豪と、嘘と、のぞみ」が上演されました。この作品は、欲にまみれた3人の登場人物が他の2人を騙し、金をふんだくろうとする姿をユーモラスに描いたハートフルコメディ。

老いらくの恋を成就させるために詐欺を働く富豪役を演じる坂上二郎さんの熱の入ったお芝居とハリのある歌声に、観客から大きな拍手が送られていました。

南条文化会館自主事業「富豪と、嘘と、のぞみ」



5月20日、今庄住民センターで子ども教室が開かれ、子どもたちはデザイン教室や大型紙芝居などを楽しみました。この教室は、地域子ども教室推進事業の一環として、子どもたちの安全、安心な居場所を設け、スポーツや文化活動、地域との交流を通じて子どもたちを育てることが目的です。デザイン教室では、新しくなる今庄小学校の各教室に付けるマークを作るため、柿やアユなどマークの素材を考えました。

そのあと、民生委員と児童館に遊びに来る小学生らが作った大型芝居・わらしべ長者が披露されました。縦1メートル、横1.3メートルの紙芝居は30枚以上。子どもたちは出来映えに満足した様子で、「自分で作るっておもしろい」と喜んでいました。

オリジナル紙芝居できたよ

今庄子ども教室



昔なつかしほお葉めし



地域ふれあいサロン

お年寄りレクリエーションなどで交流を深め、生きがい活動を支援する、地域ふれあいサロンが6月3日河内集落で行われました。この日は、ほお葉めしづくりと食事会などを企画。お年寄りらは、昔懐かしいほお葉めしを作ろうと朝早くほお葉をとりに行き、温かいきなご飯をほお葉で十字に包んでいきました。夕食会に並んだほお葉めしに子どもたちは「初めて食べる。おいしい」と喜んでいました。河内区長の網田浩淳さんは「子どもからお年寄りみんながふれあうことで、地域のつながりも深まるいい機会。また計画したい」と話していました。

福井県内全域で行われているクリーンアップふくい大作戦が6月4日、南条地区と河野地区でも行われました。各集落では子ども会や青年会などみんなが協力し合い、空き缶拾いはもちろん、草取りやゴミ拾いなども行いました。参加した人たちは「自分たちが暮らすまちのためにいい汗をかいて気持ちがいい」ときれいになった風景を前に話していました。

河野地区では海水浴場のゴミ拾いも行われ、海岸に打ち上げられたゴミの多さに驚きながらも、海開き前の海岸をきれいにしようと、みんな一生懸命取り組んでいました。

また、今庄地区でも各集落の日程で清掃作業が行われています。

作業に参加されたみなさん、ご協力ありがとうございました。

自分たちの手でまちをきれいに

クリーンアップふくい大作戦

